

私は、牧之原市の第2次総合計画のもと、「市民参加と協働のまちづくり」を基本に、市民の皆さんの安心と幸福実現のために、1期4年に渡りまちづくりを進めてまいりました。引き続き、市長としてリーダーシップを発揮し、「牧之原市の輝く未来に向けて全力投球」で挑戦してまいります。

1期目に取り組んだこと

1期目後半の2年弱の期間は、コロナ禍による未曾有の危機への対応が求められ、感染防止や各種給付金、経済対策、ワクチン接種など全庁体制で対応いたしました。

ワクチン接種が進み、現在は感染が沈静化していますが、今後、ブースター接種が始まると共に、経口薬の開発などが進められ、感染しても重症化を防ぎ早期回復が望めるようになってくると思います。今後は「ウィズコロナ・アフターコロナ」の時代となり、感染防止を図りつつ、徐々に平常の生活に戻して行く、コロナと共存する社会生活が求められます。

こうしたコロナ禍にあつて、市民の皆さんが待ち望んだ図書交流館「いこっと」の開館は、大変喜んでいただき、市民意識調査の満足度は大幅にアップしました。

また、さらに、放射線防護施設や避難地を兼ねた多目的体育館の整備を開始したほか、日本初のサーフィン専用ウエーブプールの開業と共に、東京オリムピックにおけるアメリカチームのホストタウン事業が成功し、牧之原市を国内外に大きく発信することができました。また、牧之原インターチェンジ北側の高台開発の同意取得も開始しています。

このように、他市町ではプロジェクトが相次いで延期や中止を余儀なくされる中、予定通り事業を進めてきました。

7つの戦略+1

今回の2期目では、7つの戦略を掲げました。

それは、▼にぎわいあふれる拠点づくり▼子育て世代を支える「日本一女性にやさしいまち」の実現▼健康で生き活きと暮らせるまちづくり▼誰もが安心して暮らせるまちづくり▼魅力ある産業のまちづくり▼持続可能な行政コストの削減▼広域行政の取り組みです。

そして、これにプラスして新型コロナウイルス対策を行うことで、持続可能な、輝く牧之原市の未来を実現することを目標としました。



牧之原市長 杉本 基久雄（すぎもと・きくお）

1957（昭和32）年牧之原市生まれの64歳。県立島田商業高等学校卒業。旧榛原町消防団副団長、旧榛原町役場奉職、牧之原市都市整備課長・秘書広報課長・総務部長・副市長を歴任し、平成29年に牧之原市長就任。10月の市長選において無投票で再選し、現在2期目。

牧之原市の輝く未来に向けて

全力投球

2期目の市長就任に当たり、杉本基久雄市長に、これからの「まちづくり」などについて抱負を聞きました。

人口減少への対応

一番の課題は、人口減少問題です。合併当時より、牧之原市では出生数や婚姻数が半減しています。この問題への対応として、子育ての世代の女性が、住みやすいと感じられ、活躍できる施策の充実や環境づくりに努め、「日本一女性にやさしいまち」の実現を目指します。

そのためには、牧之原で住み働き、子どもを生み、育ててもらう環境を作ることが必要だと考えます。

「高台」「相良」「榛原」の3つのエリアが連動した「富士山型ネットワーク」によるまちづくりを進め、若者のにぎわいや雇用の場を生み出し、定住人口

の増加につなげていきます。

また、学校再編を進め、学びたい・学ばせたいと思う小中一貫校を創設し、子育て世代に選ばれる魅力的な教育環境と、安心安全で快適な教育の場の整備を実現いたします。

まちづくりは一朝一夕で成し得るものではありません。10年先、20年先を見据えた対策や戦略が必要で、これを実現するためには、綿密な戦略（アクション）が必要となります。

これまでは、国が示した政策に自治体が従い、地方自治を進めてきましたが、これからは、各自自治体に即した創意工夫が求められ、それを実現するための戦略や戦術を考え、政策を推進していかねばなりません。

住みたい・住み続けたい牧之原市をつくる

1期4年間、さまざまな課題の解決に対してスピード感をもって取り組んでまいりましたが、少子化や人口減少問題のほかにも、茶栽培の担い手減少などによる耕作放棄地の増加、コロナ禍による市内経済の低迷など、まだまだ多くの課題が山積していることも現実であります。課題に取り組む上で、未来に明るい希望が持てる発展性のあるまちづくりを進めるとともに、縮小する社会経済下におきましても、持続性のある賢い市政経営を行っていくことが重要であると考えております。

市民の皆さんをはじめ、関係する皆さんのお考え、ニーズを把握するためにも、私は常々、対話が重要だと思っております。コロナ禍により、大勢の人に集まってもらう機会は減ってしまいましたが、対話の形態や方法を工夫し、多くの皆さんのご意見を市政に反映できるよう努めてまいります。

皆さんと共に知恵を出し合い、牧之原市の輝く未来に向けて、住みたい・住み続けたい牧之原市を作っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。



富士山型ネットワークによるまちづくり



学校再編計画 市民意見交換会